

沖縄民謡の語注試案(2)

Tentative Vocabulary Notes on Okinawan Folksongs (Part 2)

西 岡 敏

NISHIOKA Satoshi

前稿に続いて、沖縄民謡の語注を行う。それぞれの沖縄民謡を通し番号で示すこととする。前稿は、通し番号3までの沖縄民謡を扱ったので、本稿は4から始める。前稿で扱った単語は説明を省略する。

じゅーしちはちふし
4. 十七八節

zuusicihaci-busi

①

じゅしちはちぐる
十七八頃や

zusicihaci-guru-ja

ゆまんぐい ま
夕間暮どう 待ちゆるヨー

jumaNgwi-du macuru=joo

ゆ く
夜ん 暮りてい たばり

ju-N kuriti tabori

わ じ ゆ
我 自由 さびら

wa ziju sabira

ハラドンドンセー

hara-doNdoN-see

やくすく さとうめ くー
約束 里前や 来んどう あがやー?

jakusuku satume-ja kuuN-du ?a-gajaa?

②

ん ぞ ま どうくる
無蔵が 待ち所

Nzo-ga maci-dukuru

い さ ば ま ひ むん
伊佐浜ぬ 碑文ヨー

?isabama-nu himuN=joo

ん ぞ ま か
無蔵が 待ち兼にら

Nzo-ga maci-kanira

わ ち む
我 肝 あまじ

wa cimu ?amazi

ハラドンドンセー

hara-doNdoN-see

やくすく ん ぞ くー
約束 無蔵や 来んどう あがやー?

jakusuku Nzo-ja kuuN-du ?a-gajaa?

③

わ み あし じ
我身ん 遊び好ち

さと う あし じ
里ん 遊び好ちヨー

たげ あし じ
互に 遊び好ち

たげ あし
互に 遊ば

ハラドンドンセー

ゆみ うち ゆ かた あし
夢ぬ 浮世や 語てい 遊ばな

wami-N ?asibi-zici

satu-N ?asibi-zici=joo

tageni ?asibi-zici

tageni ?asiba

hara-doNdoN-see

jumi-nu ?uciju-ja katati ?asiba-na

④

ん ぞ ちむ かわ
無蔵が 肝 変てい

わん ぞ す
我 粗相に すらばヨー

かたなば
刀刃に かきてい

うら は
恨み 晴らさ

ハラドンドンセー

ん ぞ く かわ
無蔵が 心ん 変んなよーやー

Nzo-ga cimu kawati

waN susoni sura-ba=joo

katana-ba-ni kakiti

?urami harasa

hara-doNdoN-see

Nzo-ga kukuru-N kawaN-na=joo=jaa

⑤

さと う さ かたな
里が 差す 刀

さや ふた あ
鞘 二ち 有ゆみヨー

をうとう ふたい む
夫 二人 持ちゆる

くとう ね
事や 無さみ

ハラドンドンセー

さと う く かわ
里が 心ん 変んなよーやー

satu-ga sasú katana

saja hutaci ?ajum-i=joo

'utu hutai mucuru

kutu-ja ne-sami

hara-doNdoN-see

satu-ga kukuru-N kawaN-na=joo=jaa

⑥

ちゅー わか
今日や 別りてい

また あちや あし
又 明日 遊ばな

いり あがり
西とう 東に

わか い
別りてい 行かやー

cuu-ja wakariti

mata ?aca ?asiba-na

?iri-tu ?agari-ni

wakariti ?ika=jaa

歌詞テキストの引用は、CD『チャンプルー沖縄 島唄ベスト③』（キングレコード KICH2159、宜保栄治郎〔解説〕）にある「④十七八節」の歌詞カードを参考にした。

〔語注〕

ジューシチハチブシ zuusicihaci-busi 十七八節。内容的には男女の恋愛場面を歌ったものであるが、声明などの仏教歌を元に成立したという説がある。歌詞は1番から5番までは、琉歌形式（8・8・8・6）と反復部（7・7）を組み合わせた形で、①③⑤が女声独唱、②④が男声独唱の掛け合いとなっている。終結部の⑥も、男女の掛け合いであるが、反復部の曲調を男女相互に一つずつ掛け合う形で曲をとじている。

①

ジュシチハチグル zusicihaci-guru (0?) [名詞] 十七、八歳ごろ。ジューシチハチグル zuusicihaci-guru が琉歌の音数律制約で短くなった形（琉歌的縮約）。

ユマンガイ jumaNgwi (1) [名詞] タまぐれ。

ドウ-du [係助詞] ～こそ。～ぞ。前の名詞などをとりたてて、強調する。強意の係助詞。文末が連体形（ドウ結び形）で結ばれることがある。

マチュル macuru (0) [動詞] 待つ。動詞マチュン macuN (0)（待つ）の連体形。係助詞「ドウ」の付いた形を係り結ぶ形。

ユju [名詞] 夜。ユー juu (0) の琉歌的縮約。

クリティ kuriti 暮れて。動詞クリユン kurijuN (1?) のテ形。

クリユン kurijuN (1?) [動詞] 暮れる。クリラン kuriraN（暮れない）。クリティ kuriti（暮れて）。「日が暮れる」ことは、ユーヌ クリユン juu-nu kurijuN「夜が暮れる」と表現する。

タボリ tabori ください。動詞タボーユン taboojuN (0)（くださる）の命令形「タボーリ」の琉歌による縮約形。

ワ wa 私の。ワー waa (0)（私の）の琉歌的縮約。ワン waN (0) の連体的な形（所有格）。

ジユ ziju 自由。思いのまま。思う通り。ジュー zijuu (0)（自由）の琉歌的縮約。

サビラ s-abira しましょう。動詞スン suN (1)（する）の連用語幹+丁寧の助動詞アビーン -abiiN の志向形。

ハラドンドンセー hara-doNdoN-see 囃し言葉。

ヤクスク jakusuku (1) [名詞] 約束。ここでは、連体修飾的に用いられている。

サトゥメ satume(0?) [名詞] 殿方。愛しい貴方。女性から男性の恋人を呼ぶ言い方。

サトゥメー satumee (0) (里前) の縮約形。

クーン kuuN (0) 来ない。動詞チューン cuuN (0) の否定形。

チューン cuuN (0) [動詞] 来る。不規則動詞。クーン kuuN (来ない)。ツチ Qci (来て)。

クーンドウ アガヤー kuuN-du ?a-gajaa 来ないのだろうか。ガヤー -gajaa は自らいぶかるときに使う終助詞。強意の係助詞「ドウ」のあと、補助動詞アン ?aN (有る) で補う形。「来ないでこそあるのだろうか」。

②

マチドゥクル maci-dukuru (0?) [名詞] 待ちどころ。待っている場所。動詞マチュ

ン macuN (0) (待つ) の連用形に名詞トゥクル tukuru (1) が合わさった複合語。

イサバマ ?isa-bama (0?) [名詞] 伊佐浜。現在の宜野湾市にある地名。戦後、米軍によって強制的に接収されたところでもある。

ヒムン himuN (0) [名詞] 碑文。金石文。首里方言ではフィムン hwimuN (0)。この碑文は、「新造佐阿天橋碑」のことであろう (平凡社『沖縄の地名』319 頁)。

ンゾガ マチカニラ Nzo-ga maci-kanira 恋人が待ちかねているだろうか。「ンゾガ」の「ガ」は疑問の係助詞で、句末を推量形で結ぶ。「マチカニラ」は「マチカニエラ」の縮約形。動詞マチュン (待つ) の連用形に、接尾語的なカニユン (カニーン) (兼ねる) の推量形カニエラが付いた形。

チム cimu (0) [名詞] 肝。心。人間の心情を表すことば。

アマジ ?amazi (0) 動揺して。焦って。動詞アマジュン ?amazun (0) (動揺する) のテ形。

③

アシビジチ ?asibi-zici (1?) [名詞] 遊び好き。動詞アシブン ?asibuN (1) (遊ぶ) の連用形アシビ+動詞シチュン sicuN (0) (好く) の連用形シチ。

タゲニ tageni (0) [副詞] 互いに。タゲーニ tageeni (0) の琉歌的縮約。

ユミ jumi (0?) [名詞] 夢 (ゆめ) の文語的・雅語的表現。実際に見る夢は、イミ
?imi (0) と言う。

ウチュ ?uciju (0) [名詞] 浮世。文語。

カタティ katati (1) 語って。動詞カタユン katajuN (1) (語る [文語]) のテ形。

アシバナ ?asiba-na (1?) 遊ぼうよ。動詞アシブン ?asibuN (1) (遊ぶ) の志向形ア
シバに、希望の終助詞ナ -na が添えられた形。

ナ -na [終助詞] ～しようよ。～したいよ。希望・願望の終助詞。

④

カワティ kawati (1) 変わって。動詞カワユン kawajuN (1) (変わる) のテ形。

スソニ susoni (0) [副詞] 粗末にするさま。軽んじるさま。スソーニ susooni の琉
歌的縮約。口語ではスソーン susooN (0)。

スラバ sura-ba するならば。動詞スン suN (1) (する) の未然形+接続助辞バ -ba
の形。未然形条件形の文語的表現。

カタナバ katana-ba (0?) [名詞] 刀の刃。

カキティ kakiti かけて。動詞カキユン kakijuN (0) (掛ける) のテ形。

ウラミ ?urami (0) [名詞] 恨み。

ハラサ harasa 晴らそう。動詞ハラスン harasuN (0) (晴らす) の志向形。

ククル kukuru (0) [名詞] 心。

カワナ kawaN-na 変わるな。動詞カワユン kawajuN (1) の禁止形。基本形カワ
ル kawaru に禁止の終助辞ナ -na が付き、カワルナ kawaru-na が逆行同化によって、
カワナ kawaN-na と音変化した。

⑤

サス sasu 差す。動詞サスン sasuN (0) (差す) の基本形の連体形。口語の連体形
は「サスル」であるが、文語の連体形では「サス」となることがある。

カタナ katana (0) [名詞] 刀。

サヤ saja (0) (1) [名詞] 鞘。刀のさや。

フタチ hutaci (1?) [名詞] 二つ。文語。口語ではターチ taaci (1) と言う。

アユミ ?ajum-i あるのか (いや、ない)。疑問または反語の表現で、ここでは反語表

現。動詞アン（ある）の文語的な形「アユン」に疑問の終助辞イ-iが付いた形。

ヲウトウ 'utu (1) [名詞] 夫。

フタイ hutai (1?) [名詞] 二人。文語。口語ではタイ tai (1) と言う。

ムチュル mucuru (0) 持つ。動詞ムチュン mucuN (0) (持つ) の連体形。

ネサミ ne-sami (0) 無いのだから。無いことだ。「無い」を表す動詞ネーン neeN (0) の尾略形に強意の終助辞サミ -sami が付いて琉歌的縮約を経た形。

⑥

チュー cuu (0) [名詞] 今日。

ワカリティ wakariti (0) 別れて。動詞ワカリユン wakarijuN (0) (別れる) のテ形。

マタ mata (1) [接続詞] また。再び。

アチャ ?aca (0) [名詞] 明日。

イリ ?iri (1) [名詞] 西。

アガリ ?agari (1) [名詞] 東

イカヤー ?ika=jaa 行こうねえ。動詞イチュン ?icuN (1) (行く) の志向形に終助詞ヤー =jaa が付いた形。

[通釈]

①十七八歳頃は、夕暮れが待ち遠しいわ。日も早く暮れてくださいな。私の思い通りにしましょう。ハラドンドンセー。約束した貴男は来ないかなあ。

②貴女の待っている所は、伊佐浜の碑文のあるところだよ。貴女は待ちかねているだろうか。私の心は焦るばかりだ。ハラドンドンセー。約束した貴女は来ないかなあ。

③私も遊び好きで、貴男も遊び好きだよ。互いに遊び好きだから、互いに遊ぼう。ハラドンドンセー。夢の浮世は語り合って遊ぼうよ。

④貴女が心変わりして、私をないがしろにしたら、刀の刃にかけて、恨みを晴らそうぞ。ハラドンドンセー。貴女の心も変わらないでおくれ。

⑤貴男が差す刀は、鞘が二つあるの? (無いでしょうに)。私が夫を二人持つことなど決して無いわよ。ハラドンドンセー。貴男の心も変わらないでおくれ。

⑥今日は別れて、また明日遊ぼうよ。 西と東に別れて行こうねえ。

[メモ]「タゲニ アシビジチ タゲニ アシバ」は、そのまま訳せば「互いに遊び好き、互いに遊ぼう」であるが、通釈では前後の意味関係を考えて、「互いに遊び好きなので、互いに遊ぼう」のように「～ので」を補って訳している。

5. クラハ山田 ^{やまだ}

kuraha-jamada

①

クラフワ ^{やまだ} 山田ぬ ^{ちゆ} 美らヌル小 ^{ぐわ}

kurahwa jamada-nu cura-nuru-gwa

^{しきん} 世間 ^{うとうだか} 音高さ

sikiN ?utu-dakasa

ウチファイファイ シーチョンチョン

?uci-huihui sii-coNcoN

②

^{うたきしぐく} 御嶽至極ぬ ^{ヌル} やりば

?utaki-siguku-nu nuru jari-ba

^{かゆ} 通てい ^{わー} 我が ^{しぬ} 忍ばんむん

kajuti waa-ga sinubaN-muN

^{しぬ} 忍ばんむんぬん ^{じゆ} 自由 なゆみ

sinubaN-muNnuN ziju najum-i

③

^{んぞ} 無蔵が ^{うやどう} 御宿や ^{なま} 今 ^ち 着ちゃん

Nzo-ga ?u-jadu-ja nama cicaN

いちゃし ^{えーじ} 合図すゆが

?icasi ?eezi=suju-ga

^{いじ} 意地 ^{うん} 出じやーい ^{えーじ} 合図すん

?izi ?Nzijaai ?eezi=suN

④

^く 此ぬ ^{やどう} 宿ゆ ^{たぬ} 頼む

kunu jadu-ju tanumu

^{うん} 出じる ^{ひとう} 人や ^{をう} 居らんがや

?Nziru hitu-ja 'uraN-gaja

⑤

^{をう} 居やびーしが ^{たー} 誰 やみせが

'ujabii-siga taa ja-mise-ga

⑥

^{わん} 我どう やる

waN-du jaru

^{とうーみち} 遠道ぬ ^{ちか} 疲れ

tuu-mici-nu cikari

ひさ
足だるさ あむぬ
たばく
煙草やちょーん 吹かち 呉り

hisa-darusa ?a-munu
tabaku-ja-cooN hukaci kwiri

⑦

とうみち ちか
遠 道ぬ 疲れ
ひさ
足だるさ あみせーらー
うち い
内んかい 入みそーり

tuu-mici-nu cikari
hisa-darusa ?a-miseeraa
?uci-Nkai ?i-misoori

⑧

たばく ふ わ
煙草 吹ちがや 我ね あらん
うむ うむ かた
思い 思い 語らなや

tabaku huci-ga-ja wane ?araN
?umui ?umui katara-na=ja

⑨

うんまをうとーてい うひな一なー
あびみせーねー 大事 やしが
あまんかい 入みそーり

?Nma-'utooti ?uhinaa-naa
?abi-misee-nee dezi ja-siga
?ama-Nkai ?i-misoori

⑩

いや くとう うむ
汝が 事ゆ 思てい
あがとから くがと
い くとうば な
云言葉に 馴りてい 呉り

?ja-ga kutu-ju ?umuti
?agato-kara kugato
?ikutuba-ni nariti kwiri

⑪

い くとうば ね
云言葉ん 無らん
うむ うむ し
思い 思い 知やびらん
くまをうとーてい うひな一なー
あびみせーねー 親兄弟に
ち
聞かりーねー 大事 やしが

?ikutuba-N neraN
?umui ?umui sijabiraN
kuma-'utooti ?uhinaa-naa
?abi-misee-nee ?uja-code-ni
cikarii-nee dezi ja-siga

⑫

あきよ	じゆ	ならん	ʔakijo ziju naraN
たきゆ	また	やりば	taki-ju mata jari-ba
くまをうとーてい	し	死ぬしどう まし	kuma-'utooti sinu-si-du masi

⑬

いぬち	し	命までい 捨てている	ʔinuci-madi sitiru
たきゆ	また	やりば	taki-ju mata jari-ba
い	くとうば	な	ʔikutuba-ni-N narijabira
云言葉	にん	馴りやびら	

⑭

どーでいんぐわ	な	馴りてい	くい	doodiN-gwa nariti kwiri	
ななゆる	うゆ	七夜に	及でい	nana-juru-ni ʔujudi	
かゆ	じゆ	通たくとう	自由	なとーさ	kajuta-kutu ziju natoo-sa
かゆ	じゆ	通らんむんぬん	自由	なゆみ	kajuraN-muNnuN ziju najum-i
かゆ	じゆ	通たくとう	自由	なとーさ	kajuta-kutu ziju natoo-sa

歌詞テキストの引用は、CD『チャンプルー沖縄 島唄ベスト③』（キングレコード KICH2159、宜保栄治郎 [解説]）にある「⑥クラハ山田」の歌詞カードを参考にした。

[語注]

クラハ山田 kuraha-jamada クラハ山田。恩納村にある地名の久良波（クラフワ）と山田（ヤマダ）にちなむ。この地域の管轄していた祝女（ヌール）に通おうとする色男の独白とも言える歌詞が①から③まで続き、色男が祝女の宿への訪問を知らせる④から男女の掛け合いが始まる。以下、⑭まで男女交互で掛け合うスタイルとなっている。⑭の締めくくりの部分は、再び色男の独白に戻る。

①

クラフワ kurahwa [名詞] 久良波。恩納村の地名。「フワ」は唇音を残した発音。
ヤマダ jamada (0) [名詞] 山田。恩納村の地名。近くに護佐丸の築城で有名な山田

城（やまだぐすく）がある。

チュラ cura- [接頭語] 「美しい」などの意味を表す。

ヌル nuru (0?) [名詞] のろ。祝女。沖縄固有の宗教で神が憑依する女性。口語ではヌール nuuru (0)。

グワ -gwa [接尾辞] 小さいこと、かわいいことを表す指小辞。口語ではグワー -gwaa。

シキン sikiN (0) [名詞] 世間。世の中。

ウトウダカサ ?utu-dakasa (1?) 有名なこと。名が高いこと。形容詞ウトウダカサン ?utu-dakasaN のサ語幹形（名詞相当）。

ウチファイフイ シーチョンチョン ?uci-huihui sii-coNcoN 囃し言葉

②

ウタキシグクス ?utaki-siguku-nu (0?) 御嶽（うたき）という聖地の。御嶽に関わる高位の。シグク siguku (1) は、もとは副詞で「至極」の漢語に由来する。

ヤリバ jari-ba であれば。連詞ヤン jaN (1) (である) の已然形+接続助辞バ -ba の形。文語的表現。

カユティ kajuti 通って。動詞カユン kujun (通う) のテ形。文語。

ワーガ waa-ga 私が。一人称単数の主格形。

シヌバンムン sinubaNmuN 忍ばなければ。忍ばないで。動詞シヌブン sinubuN (1) (忍ぶ) の否定形シヌバンに、接続助詞ムン muN が付いた形。ここでの接続助詞ムンは、条件文を作っている。

ムン -muN [接続助詞] ～だから。～ものならば。

シヌバンムンヌン sinubaNmuNnuN 忍ばなければ。忍ばないで。動詞シヌブン sinubuN (1) (忍ぶ) の否定形シヌバンに、接続助詞ムンヌン muNnuN が付いた形。ムンヌンは、ムン (もの) + ヌ (の) + ン (も) の形であろうが、前項のムンと同じく、ムンヌンでも条件文を作っている。

ムンヌン -muNnuN [接続助詞] ～ものならば。～ものであるならば。

ナユミ najumi なるか。できるか。疑問または反語の表現で、ここでは反語表現。動詞ナユン (なる) に疑問の終助辞イ -i が付いた形。

③

ウヤドゥ ?u-jadu [名詞] 家の敬語（美化語）。御宿。

チチャン cicaN 着いた。動詞チチュン cicuN (0)（着く）の過去終止形。

イチャシ ?icasī [疑問詞] どのようにして。文語的表現。口語ではチャーッシ caa-Qci。

エージ ?eezi (0) [名詞] 呼んで誘うこと。

スUG suju-ga するのか。文語的表現。口語ではスガ su-ga。疑問の終助詞ガ -ga は疑問詞に呼応する。

イジ ?izi (1) [名詞] 勇気。意地。

ウンジャーイ ?Nzijaai 出て。動詞ウンジュン ?NzijuN（出る）の第三中止形（アーイ形）。

スン suN (1) [動詞] する。終止形。

④

ヤドゥ jadu (0) [名詞] 家。宿。

ユ・ju [格助詞] を。文語。沖縄語では口語では用いない。

タヌム tanumu 頼む。動詞タヌムン tanumuN (0)（頼む）の基本形の終止形。口語の終止形は「タヌムン」であるが、文語の終止形では「タヌム」となることがある。

ウンジル ?Nziru 出る。動詞ウンジュン（ウンジーン）?NzijuN（?NziiN）（出る）の連体形ウンジール ?Nziiru の縮約形。

ヒトゥ hitu (1) [名詞] 人。文語。フィトゥ hwitu (1) がさらに古い形。口語ではツチュ Qcu (1)。

ヲウランガヤ 'uraN=gaja いらないかな。動詞ヲウン 'uN (1)（居る）の否定形ヲウラン 'uraN（居ない）に疑問の終助詞ガヤー =gajaa の付いた形。=gaja は縮約形。

⑤

ヲウヤビーシガ 'ujabii-siga おりますが。おりますがけれど。動詞ヲウン 'uN(1)（居る）の丁寧形ヲウヤビーン 'ujabiiN（居ます）の尾略形に、逆接の接続助辞シガ -siga が付いた形。

ター taa (1) [疑問詞] 誰。

ヤミセガ ja-mise-ga ～でいらっしやるの? 連詞ヤン jaN (1) (である) の連用形から i を取った形 + 尊敬の助動詞ミセーン miseeN の尾略形 + 疑問の終助詞ガ -ga の形 (ヤミセーガ)。「ミセガ」は「ミセーガ」の縮約形。

⑥

ヤル jaru 連詞ヤン jaN (1) (である) の連体形 (ドウ結び形)。係助詞ドウ du に呼応する形。

トゥーミチ tuu-mici (1?) [名詞] 遠い道。遠くから来た道。形容詞トゥーサン tuusaN (1) (遠い) の基本語幹形トゥー tuu に名詞ミチ mici (1) (道) が合わさった複合語。

チカリ cikari (1?) [名詞] 疲れ。

ヒサダルサ hisa-darusa 足が怠いこと。足が疲れていること。形容詞ヒサダルサン hisa-darusaN (1) のサ語幹形。ヒサダルサンは、名詞ヒサ hisa (1) (足) + 形容詞ダルサン darusaN (0) (怠い) の複合語。

アムヌ ?a-munu あるから。前にある形容詞を語形変化させるために補助的に付く。

アン ?aN (0) (ある) の尾略形に接続助詞ムヌ -munu (～だから) が付いた形。

タバク tabaku (0) [名詞] 煙草。

ヤチョーン -ja-cooN [副助詞] ～さえも。～だけでも。係助詞ヤ -ja (～は) + 副助詞チョーン -cooN (～さえ、～すら)。チョーン -cooN は、一般的に係助詞 -ja の後で使うようである。

フカチ hukaci 吹かさせて。(煙草を) 吸わせて。動詞フチュン hucuN (0) ([煙草を] 吹かす) の使役形フカスン hukasuN のテ形。

クイリ kwiri くれ。くれろ。動詞クィユン kwijuN (1) (呉れる) の命令形。

⑦

アミセーラー ?a-miseeraa おありになるのなら。前にある形容詞 (ヒサダルサン) を活用させるために、アン (有る) が補助的に付く。アミセーラー ?a-miseeraa は、アン ?aN (0) (ある) の連用形から i を取った形に、尊敬の助動詞ミセーン miseeN の未然形条件形ミセーラー miseeraa (～なさるのならば) が付いた形。

ウチ ?uci (1) [名詞] 家の中。屋内。

ンカイ -Nkai [格助詞] ～に。

イミソーリ ?i-misoori お入りなさい。動詞イユン ?ijuN (1) の連用形から i を取った形に、尊敬の助動詞ミセーン miseeN の命令形ミソーリ misoori (～なさい) が付いた形。

⑧

フチガヤ huci-ga-ja [煙草を]吹かしには。吹かすためには。吹かしたいがためには。

口語ではフチーガヤ hucii-ga-ja。動詞フチュン hucuN (0) ([煙草を]吹かす) の連用形フチーに、動作の目的を表す格助詞ガ -ga (～しに) が付き、さらに係助詞ヤ -ja (～は) が付いた形。フチガヤ huci-ga-ja は、フチーガヤ hucii-ga-ja の縮約形。

ワネ wane 私は。口語ではワンネー waNnee (私は) で、その縮約形。

アラン ?araN ～ではない。係助詞ヤ -ja (～は) + アラン ?araN の形で、「～ではない」という事実の否定を表す。

カタラナヤ katara-na=ja 語ろうよ。語り合おうよ、動詞カタユン katajuN (1) (語る [文語]) の志向形カタラに、希望の終助詞ナ -na、そのあとに詠嘆の終助詞ヤ -ja が添えられた形。最後の詠嘆の終助詞ヤ -ja は口語では、ヤー -jaa と長く現れる。

⑨

ウンマ ?Nma (1) [名詞] そこ。そちら。

ヲウトーティ 'utooti [格助詞] (場所の名詞について) ～で。動作の行われる場所を表す。

ウヒナーナー ?uhinaa-naa [副詞] それほど大きく。それほど大きな程度で。

アビミセーネー ?abi-misee-nee 声をお出しになると。声をお出しになれば。動詞アビユン ?abijuN (0) の連用形から i を取った形に、尊敬の助動詞ミセーンの連用形が付き、その後に条件を表す接続助詞ネー -nee (～すると) が付いた形。

デジ dezi (0?) [名詞] おおごと。大事。デージ deezi (0) の縮約形。

ヤシガ ja-siga ～であるけれど。～だが。連詞ヤン jaN (1) (である) の尾略形に、逆接の接続助辞シガ -siga が付いた形。

アマ ?ama (1) [名詞] あそこ。あちら。

⑩

イヤ ?ja (1?) [名詞] お前。君。口語ではイヤー ?jaa (1) で、その縮約形。二人称単数親称。

ウムティ ?umuti 思っ。動詞ウムユン ?umujuN (0) (思う) のテ形。

アガト ?agato (0?) [名詞] あの遠さ。あんなに遠く。口語ではアガトー ?agatoo (0) で、その縮約形。

クガト kugato (0?) [名詞] この遠さ。こんなに遠く。口語ではクガトー kugatoo (0) で、その縮約形。

イクトゥバ ?ikutuba (1) [名詞] ことば。ここでは、男の言い寄る言葉。イ ?i- は動詞イユン ?juN (言う) の連用形に由来する接頭辞。

ナリティ nariti 馴れて。親密になって。馴染んで。動詞ナリユン narijuN (0) (馴れる) のテ形。

⑪

ネラン neraN [動詞] 無い。ここでは終止形。口語ではネーラン neeraN (0) で、その縮約形。

シヤビラン sijabiraN 知りません。動詞シユン sijuN (1) の丁寧形シヤビーン sijabiiN の否定形。

ウヤチョデ ?uja-code [名詞] 親兄弟。口語ではウヤチョーデー ?uja-coodee (0?) で、その縮約形。

チカリーネー cikarii-nee 聞かれると。動詞チチュン cicuN (1) (聞く) の受身形チカリーン cikariiN (聞かれる) の連用形に、条件を表す接続助詞ネー -nee (～すると) が付いた形。

⑫

アキヨ ?akijo [感動詞] ああ。おお。口語ではアキヨー ?akijoo (1) で、その縮約形。

ナラン naraN ならない。できない。動詞ナユン najuN (0) (なる) の否定形。

タキ taki (0) [名詞] たけ。ほど。程度。

ユ -ju 音数律を補うための産み字。

シヌシドウ sinu-si-du 死ぬほうが。死ぬのが。動詞シヌン sinuN (1) (死ぬ) の尾略

形に準体助詞シ-si (～の) が付き、それに強意の係助詞ドウ-du (～こそ) が付いた形。

マシ masi (1) ました。ましである。形容動詞の終止形か。

⑬

イヌチ ?inuci (1) [名詞] 命。文語。口語ではヌチ nuci (0)。

マディ madi [副助詞] ～まで。

シティル sitiru 捨てる。動詞シティユン sitijuN (1) (捨てる) の連体形シティール sitiiru の縮約形。あるいは、基本形シティルの連体形 (文語) とも解釈できる。

ニン -ni-N ～にも。格助詞ニ-ni (～に) + 係助詞ン-N (～も)

ナリヤビラ narijabira 馴れましょう。親しくなりましょう。動詞ナリユン narijuN (0) (馴れる) の丁寧形ナリヤビーン narijabiiN の志向形。

⑭

ドーディングワ doodiN-gwa どうか。なにとぞ。どうぞ。副詞ドーディン doodiN (1) (どうぞ) に、指小辞グワ gwa が付いた形。グワ gwa は口語ではグワー gwaa。

ナナユル nana-juru (0?) [名詞] 七夜。

ウユディ ?ujudi 及んで。動詞ウユブン ?ujubuN (1) (及ぶ) のテ形。

カユタクトゥ kajuta-kutu 通ったので。動詞カユユン kajujuN (通う) の過去形カユタン kajutaN (通った) の尾略形に、理由 (順接) の接続助辞クトゥ -kutu (～ので) が付いた形。

ナトーサ natoos-a なっているよ。動詞ナユン najuN (0) (なる) の継続形ナトーン natoon (なっている) の尾略形に、終助辞サ-sa (～よ) が付いた形。

[通釈]

- ①久良波、山田の美しいノロさんは、世間でも名高いよ。ウチファイ、シーチョンチョン。
- ②御嶽に関わる高位のノロであるから、私が通って忍ばなければ、忍ばないものならば、自分の思い通りになるだろうか (いや、なるまいよ)。
- ③想い人の家には今、着いた。どのように呼び出そうか。勇気が出て、呼び出すよ。

- ④この宿を頼もう（もしもし）。(応対に) 出る人はいないかな。
- ⑤居りますが、どなたでいらっしゃるの？
- ⑥私だよ。遠くからの道で疲れ、足がだるくなっているので、煙草だけでも吸わせてくれ。
- ⑦遠くからの道で疲れ、足がだるくなっているのなら、中にお入りください。
- ⑧煙草を吸いには、私は来たのではない。思いを、思いを語り合おうよ。
- ⑨そこで、それほどまでに大声をお出しになると、大変ですが。あそこにお入りください。
- ⑩お前のことを思って、あれほど遠くから、これほど遠くから（やってきたのだ）。私の言う言葉を受け入れてくれ。
- ⑪言う言葉も無い。思いなど知りません。ここで、それほどまでに大声をお出しになると、親兄弟に聞かれると、大変ですが。
- ⑫ああ、私の思い通りにならないほどのものならば、ここで死んだほうがましだ。
- ⑬命まで捨てるほどのものならば、あなたの言う言葉にも従いましょう。
- ⑭どうか私を受け入れてくれ。七夜に及んで、(ノロのもとに) 通ったので、思いがかなっているよ。通わないものならば、思いがかなうだろうか（いや、かなわないだろう）。通ったので、思いがかなっているのだ。

[メモ]「～ムンヌン」は、これまでの辞典等には十分な説明がないが、条件文を作る働きをしているものと考えられる。「～もののも」に対応する形である。

○参考文献

- 国立国語研究所 [編] 1963 『沖縄語辞典』 大蔵省印刷局
- 島袋盛敏・翁長俊郎 1968 『標音評釈 琉歌全集』 武蔵野書院
- 高良倉吉 [編] 2002 『沖縄県の地名 (日本歴史地理体系)』 平凡社
- 滝原康盛 1964 『琉球民謡解説集』 (上巻・中巻・下巻) 琉球音楽楽譜研究所
- 西岡敏・仲原稔 2000 『沖縄語の入門 たのしいウチナーグチ』 白水社
- 野原三義 1998 『新編 琉球方言助詞の研究』 沖縄学研究所